
アルー～作り直され出会い編～

平太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アルー作り直され出会い編

【Nコード】

N1592Z

【作者名】

平太

【あらすじ】

少年と少女が出会ってから打ち解けるまでのお話。

最初のあれ

猫だった。二匹の黒い猫。

彼らの間には赤くて黒くてぐちゃぐちゃしたものが転がっている。

「何がないの？」

「んー……、いや、ほとんど残ってるかな。人形を使うまでもないね」

「そりゃーよかった。僕たちにとっても、この子にとっても」

「だね。経費削減でエコ。んまあ、とりあえず運ぼうか」

「じゃあ、空けるよ。君はこの子をはこんでくれ」

「おーけー」

「よーし、いち、にの、さん！」

あたりは光に包まれ、後には何も残らない。

少年は目を覚ました。

惨憺たる目覚めだった。頭の中でぶんぶん音がして不快だし、仰向けの状態から起き上がろうとしたら体が引きちぎれるぐらいの痛みを感じた。

何とか立ち上がって、ぼんやりあたりを見回す。部屋だった。部屋と呼ぶにふさわしい。六畳ぐらいのそこは石造りの、見おぼえない場所だった。

家具らしきものは何もない。窓もない。電灯もない。

……扉があつた。

しばらく眺めて、少年は違和感を覚えた。なにか変だ。おかしい。

だけど、何がおかしいのかわからない。

いまだ音のなる頭をうならせて少年は考える。

考える。考える。考える。

かんがえる。かんがえる。かんがえる。

まだ考える。

考える。考える。考える。

かんがえる。かんがえる。かんがえる。

かんが、扉が開いた。

入ってきたのは猫だった。二匹の黒い猫。

彼らは少年を挟んでむかいあった。

「やあ」

猫がしゃべったことに少年は驚く。

「おはよう」

またしゃべった。

「驚いているだろうね。困惑しているだろうね。無理もない。死んだのは初めてだったろうし、それゆえに作り直されるのも初めてだろうから」

「うんうん、無理もない。けども大丈夫。心配はいらないよ。それはもう全然いらない」

「いやまったく」

「ほんとに」

「……………」

「……………」

「殺したのは僕たちじゃないよ。あれは君が自発的にやったことだろう？　僕たちのせいじゃない」

「そう、僕たちのせいではない」

「自殺とまでは言わないが、自殺行為ではあった」

「何が違うかというと」

「いうと」

「……………」

「とにかく、君は一度死んだので、僕たちのものになった」

「死んだからしょうがない。かわいそうだが仕方ない。だって僕らは」

「そう、僕らは」

死神だから。

猫はこれから少年がやるべきことを長々と説明してから部屋を出て行った。

少年はもうとにかく体中が痛かったので横になって目を閉じた。頭の中でぶんぶん音がした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1592z/>

アルー～作り直され出会い編～

2011年12月5日20時11分発行